

2012年度 学校評価 保護者からみた学校

(2013年3月実施)

＝保護者 A＝

久慈川三育小学校について

久慈川三育小学校は、全校児童が24名という小さな小学校です。先生方は、知育、徳育、体育の三育教育をベースにして、子ども達を熱心に指導してくださっています。知育については、教室での授業のほかに、身近な自然を観察するための校外学習や、スーパーでの食育授業、外国人の先生による楽しい英帯の授業、日本の伝統文化に触れるお琴教室やお茶教室、陶芸教室などの体験学習を行っており、子どもの好奇心を育てています。また、放課後に課外授業も行き、授業の内容を理解できるまで指導してくれます。

徳育については、聖書の時間があり、聖書や牧師先生の話をとおして「人としての生き方」や「正しい行い」などについて学び、心を成長させています。また、併設する保育園の園児との交流や小学校を支えてくれている教会の方々との触れ合いにより、自然に思いやる心や助け合う心が育まれているように思われます。体育については、毎週1回行われるマラソン大会、毎月1回の水泳教室、冬はスケート教室と基礎体力をつける授業が行われています。クラブ活動には卓球やバレーボール、サッカーなどがあり、楽しみながら運動を行っています。

学校生活については、子ども達は、いつも元気で明るく、学校を訪問すると、みんな大きな声で挨拶してくれます。小学1年生から6年生まで、みんなニコニコしながら挨拶する姿を見ますと、楽しく充実した学校生活を送っているのだなと感じることができます。

子ども達は明るく生き生きとしていて、下級生は上級生を慕い、上級生は下級生の面倒をよく見えています。本当に仲の良い兄弟のように摸しています。学校全体が大きな家族のようで、温かさを感じます。

子どもが入学する際には、少人数の学校のため不安もありました。複式学級や小さなコミュニティでの人間関係など、他の小学校とは違う点があるため、デメリットがあるのではないかと思いましたが、しかし、そのようなデメリットは全くありませんでした。少人数の学校であるというメリットのほうが多かったと感じます。先生方の目が行き届く、子どもが自ら動く、校外活動が活発、PTAが協力的など、小さな小学校ならではのメリットがたくさんありました。そして、温かい雰囲気の中で充実した学校生活を過ごすことができたのが一番のメリットだと思います。

子どもの成長に大事な時期に、このような素晴らしい小学校で6年間を過ごすことができ、本当に良かったと思います。

＝保護者B＝

三育の教育理念（知育、徳育、体育）をベースに先生方が久慈川三育小学校ならではの特徴を織り込んで、教育プログラムに活かし改善を重ねてこられた中で6年間を学ばせて頂きました。

今年卒業していく5人の姿を見ていると、前向きで真っ直ぐな、しなやかな心と力強さを秘め、何事にもへこたれないたくましい力を身につけてくれた、そう感じております。

先生と児童と保護者の心の距離感が近いことが、何より教育効果を最大化させる根にありました。また少人数教育だからこそ可能となる教育プログラムがある、それが久慈川三育小学校の最大の魅力です。

子どもにとって6年間毎日毎日学校に行くことそのものが楽しくて楽しくて仕方がなかった、この積み重ねが将来の量り知れないエネルギーに繋がっていくのだろうと感じております。そういう学校の魅力を維持発展させるために考え抜いてこられた先生方、また学校を支えて頂いている教会関係の方々には心から感謝申し上げる次第であります。

教育プログラムには体験的なものが多く、しかも単なる体験で終わることなくさらに深く発展に繋げるための工夫や毎年少しずつ味付けを変え改善頂いていることが保護者として楽しくもありました。そのためさらに改善に繋がる新たな有益な提案はなかなか思いつきませんが、各種プログラムを子どもと会話しながら振り返り、それぞれ誠に勝手な感想を記載しましたのでご容赦願います。

《マラソン：毎週木曜日約800m》

●個人のタイム記録は、1年間また6年間を通してどのように改善したのかを本人が知ることができれば、本人の自信にも繋がるのではと思います。

《一輪車検定：毎週水曜の全体練習と昇級検定》

●運動会のプログラムに演技が取り込まれており、運動会で真剣に演技する児童たちの姿は、保護者家族、関係者方々の感動を呼んでいます。レベルも高く、びっくりです。

●一輪車に乗ることは、子どもたちの達成感や自信に繋がっています。6年生のとき、運動会出場レベルに手が届くかもしれない、といったときの息子の自主頑張りには驚きました。

●先生方のリードも素晴らしい。校舎で見ていた先生から昇級検定中の本人へ「がんばれっ」と大きな声援を頂いたことが今でも耳に残っているそうです。

そのときの声援は、色々不安があるときに『あのとき応援してもらったら、できた！』と自信の源泉になっているそうです。

《保育園との交流会》

●1年生より年少のこどもたちとふれあう中で、年少者に対する、手加減、お世話など優しい心を学んだようです。

《ふれあい食事会》

●劇、クイズ、食事などの歓談を通して、ご高齢者が小さかった頃の社会・地元の様子、方言、配慮すべき事柄など、同世代間だけでは得られないことを理解したようです。

《お茶、お琴の体験授業》

●和室の作法（ふすま開け方閉め方、入退室の動作）、お茶の作法（立ち居振る舞い）、お琴で「主、我を愛す」にチャレンジするなど、日本文化を身近な角度で体験できました。和室での立ち居振る舞いなどは、家族の中で一番詳しいのではないかと思います。

《稲作体験》

●田植え、稲刈り、おだかけ、足踏み脱穀、トウミ、精米、オリジナル名付け会議（すみる（スマイル））、ライスバーガー作り（全校児童へ振舞う）昨年はカレーライス、バザー出品など、稲作経験だけに留まらず、ブランド名を付けたり調理したりと、発展させた活動に結びつけてあることがより広がった社会活動を意識できるようになりました。

《餅つき 西山研修所》

●火起こし、蒸し器、杵・木臼、餅つき、つきたて餅の試食、片付け。「餅」という結果だけでなく、普段は機会の少ない特殊な段取りや物品を手にするなど、大切な体験ができました。

《スケート 3学期、ひと月に2回》

●スケートの先生に教えてもらい基本的な動作にチャレンジ（ひょうたん滑り、停止、カーブ、片足滑り）

《水泳教室 年に12回》

●初級、中級、上級それぞれの級に応じて、クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、メドレーなど個別目標にチャレンジ

《陶芸教室 1年に一度》

●図工授業の一部を使って陶芸家に教わり、「お茶お琴体験」で使う茶碗づくりや自由作品づくり。自宅では食器の一部として家族皆が利用し、本人も優越満足そうにしています。

《宿泊学習》

●スカイツリー、キッザニア、造幣局、夢の島（第五福竜丸、熱帯植物園）、NHK スタジオパーク、青山こどもの城

●ホットな話題、疑似体験、実物を通した身近なモノとを結びつくテーマ選択は、子どもたちの興味や各種の動機付けとして効果的です。

《修学旅行 2年に一度 沖縄3泊4日》

●黒糖作り（サトウキビ刈取り、機械粉碎・搾り、原糖汁煮詰め、型流し、試食）、美ら海水族館、同窓生・先生との楽しい思い出。

《英会話授業 1週間に一度》

●上級生の授業では、人と人と英語で会話する機会が増えるとさらに良くなると思います。

●例えば、乗りもの、買い物をする、道や場所を尋ねる、などの対応ができる、といった行動目標があると現実性があるってより楽しくなると思います。

《卒業礼拝》

●他の学年や一般の方々への説教に代わる題材を自分で考え構成を組立てることは、総合的な力量を伸ばす機会だと思います。

●夏休み研究発表なども同様ですが、自分の考えをまとめて人前で伝える機会は、学年毎のレベルに相応する内容で良いので増やしていただけたらと思います。

《その他の学校に関連する行事》

●安息日学校（毎週土曜日）、ぶどうジュース作り、玄米餅作り、バイブルキャンプ、バザー、レインボークラブなどは、実践を伴った生きた社会教育の場になっています。他の学校にはない優位なものだと感じます。

＝保護者C＝

息子の強い希望により三育小学校に入学しました。入学してすぐに発達障害があることがわかり、親として息子の為にとどうしたらいいか思い悩んだ時期もありました。そんな時にも先生方はいつも快く相談に応じて下さり安心して息子をお願いすることが出来ました。低学年の頃は、授業に集中できないことが多く、パニックを起こして泣き出すこともあり手のかかる子どもだったと思います。今でも何をやるのものんびりマイペースの息子ですが、それを個性として受け入れていただけたことでのびのび過ごすことができたと思います。学習面では、放課後にきちんとフォローして下さるので親の負担が軽くなりましたし、息子もやれば出来るんだ!!という自信につながったと思います。少人数の

学校ですので、行事等では全員で仕事を分担してやることで親同志の交流も生まれますし団結意識もできるように感じます。子どもと共に思い悩みながらも一緒に成長することができましたし、楽しい思い出が沢山つまった6年間でした。先生方にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

＝保護者D＝

早いもので、4月からは5年生になります。

小学校に入学したころはまだまだ小さかった息子も、4年生になったころから心も体も、本当に強く、大きくなったなと感じています。これも三育小学校の諸先生方をはじめ、教会員の皆様、諸関係者の心温まるご指導によるものと感謝しています。

社会問題となっていますいじめ……。三育小学校は聖書を通して人を思いやる心を育ててくださりますので本当に児童全員が仲良しです。

息子に聞きました。「三育小学校の良いところは？」即答したのは「いじめがない」でした。

一番心が成長する小学校生活を、本当に楽しく充実した環境の中で過ごせることに感謝しています。

残り2年ですが、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

＝保護者E＝

子供達は毎日楽しく通わせて頂いております。

まず、学校の勉強に関しては、少人数なので一人ひとりをきちんと見てくださり感謝しています。苦手な所などは、子供が興味を持つように好きなものに当てはめて教えてくださったり、連絡帳を通してどこが弱い所なのかを保護者にもいち早くご連絡下さったりするので、子供の様子がわかりやすいです。

また、一輪車や水泳、冬にはアイススケートなど多種多彩なカリキュラムを用意してくださっているので、子供達は楽しみながら多彩な運動をしています。社会との関わりも、企業のプログラムなどに積極的に参加して、トマトの苗をいただきました。

大切に育てて美味しいトマトが実ったこと、また実が腐ってしまった事への疑問など、感謝の気持ちと共に「お手紙を書きたい」と思って行動できたこと

に成長を実感しました。いつも当たり前食べている食べ物を作ってくださいっている方々のご苦労などを子供自身で感じる生きた教育であり、よい体験になりました。

学校へ通う際に電車に乗るのですが、先日は強風の影響で電車が不通になりました。そのような時にもいち早く保護者への連絡をくださって、その上でいつも利用している駅まで送っていただきました。

また、震災の時にも一人ひとりに対応して確実な受け渡しをしてくださったので、その後の通学も安心でした。

今後とも宜しくご指導の程お願い致します。

＝保護者 F＝

昨年度より他県から転校してきて大変お世話になりました。

こちらの学校へ決めたのは、教育方針などホームページで拝見させていただき、こちらの学校であればきっと毎日楽しく学校へかよってくれるのではないかという期待からでした。

三育小学校に入学させてから最初は本人も不安があったようですが、先生方のきめ細かい配慮で、本当に子供たちのことを考えてくれているのだとヒシヒシと感じられることが多く、安心して学校へ送り出すことができました。また学校にも思ったよりも早くなじめてすぐにお友達も出来、ほかの学年の人達とも仲良く学校生活を送っていることがわかり、以前までは、あまり学校のことを口に出すような子ではなかったのですが、よく学校での話をきかせてくれます。こんなに毎日楽しく学校に行く姿をみて、三育小学校へ入学させたことはまちがいではなかったんだなと思っています。

これからもいろいろな体験を通して健やかに育ってくれることを今からとても楽しみに思っています。またこれからも先生方にもご迷惑をおかけすることはあると思いますがよろしく願いいたします。

＝保護者 G＝

先日、卒業祝賀会がありました。小学生、先生、保護者、教会の方々すべてが集まって食事や贈り物をして5人の卒業生をお祝いしました。

4月には入学祝賀会でやっぱり新入生を全員でお祝いします。私の小学校時代にはこんなことはなかったので、最初は驚きました。でも、このように三育の

児童は、土曜日の教会やバザーなどたくさんの機会にたくさんの大人と交流し、実に多くの大人が自分たちのためにいろいろしてくれていることを肌で感じて育ちます。

また、この学校の児童は、複数学年の教室で学び、多くの学年共通の行事や授業があるので、その中で自然と上級生が下級生のお世話をするようになります。

卒業祝賀会で卒業生の保護者の方々の感謝の言葉聞きながら、こういった環境が児童の目上の人に対する感謝の気持ちや目下の人に対する思いやりや責任感を育てるのだと感じました。

上の子は全員の前でしっかり発表できるようになり、逆に親の方が心配されてしまいました。下の子も下級生を優しくしっかりお世話できるようになりました。子供の入学式の時を思い浮かべるとその成長に感動してしまいました。これも、いままで積み上げられてきたこの素晴らしい環境と、少人数教育ならではの、先生方の目の行き届いたご指導の賜物だと思います。

どうか今後も宜しくお願い致します。

＝保護者H＝

久慈川三育小学校には、3年生から転入してきました。

日立市内の小学校に通学してもうすぐ2年生になろうという3月11日に震災にあいましたが、震災後1か月が過ぎても余震が続いたことで日立で生活することが難しくなり、主人の育った大阪へと転居しました。しかし、おじいちゃんが末期がんであることわかり、仕事で大阪を離れられない主人を残して、日立に戻るところになりました。

パソコンに三育と入力して、久慈川三育小学校のHPを全部印刷して、夫婦で熟読しました。3月におじいちゃんのお見舞いに大阪から子供たちを連れて来た時に、受験し面接を受けました。

三育小学校に入って、長男はのびのびと成長しています。友達と協力して、賛美歌の練習に、クリスマス会の劇の発表とがんばることの楽しさを学びました。何よりも、先生方のご指導、さらに聖書の勉強を通じて、生き抜くたくましさを身につけています。

もうこれ以上がんばれない、どうしたらいいのというこがあったときに、長男が、豊かな祝福がありますようにと、お祈りをしてくれました。心がとてもリラックスできました。やれるだけのことはやった、あとは、神様が見守って下さる、と思えました。

三育小学校に入って、子供も親も、学ぶことがたくさんあります。家族は、大阪と日立と離れての生活ですが、学校のHPで元気に成長している長男の姿をみて、仕事で全国を飛び回っているお父さんも、元気を分けてもらっています。4月からは4年生、先生がた今後ともご指導をよろしく願います。これからも親子で、成長させてください。

＝保護者Ⅰ＝

2013年3月に長女に続き次女が久慈川三育小学校を卒業致しました。思えば長女の転入と次女の入学から数え足かけ6年お世話になっています。その中で3女も入学し、4女も併設されている久慈川三育保育園で学んでおり、4人の子供達が同じ学校で学んでいることとなります。6年前初めて目にした三育小学校は、それまでマンモス小学校・幼稚園を経験してきた子供や親からすれば、複式学級はさることながら、あまりにも少人数の生徒を見て、少なからず衝撃を受けたのは確かでした。しかし日を追うごとに「この小学校に子供を任せて良かった」と強く感じることとなりました。保育園・小学校・教会（卒業生も含め）が常に交わっている環境から、現在の世の中では経験することが少なくなった、小さい子からお年寄りまで幅広い年代での交わりが最大の魅力ではないかと思えます。小学校の年間プログラムでも保育園との交流、保護者や他人である教会員との交流、地域のご高齢の方々との交流などが組み込まれており、それらの経験が見ず知らずの市民の方とも挨拶を自然と交わすことができるようになるという子供達の健全な成長に繋がっていると思えます。

長女および3女が学習的に難があり、治療を受けながら日々学校生活に取り組んできました。治療の上で学校での生活態度の観察も欠かせない事項になるのですが、先生方に大変お世話になりました。少人数とはいえ先生方も日々忙しいなか、子供の状態を細かく観察して頂き、また先生ご自身も病の知識を習得して頂くなど、とても公立の学校では望めない対応をして頂きました。そのおかげで徐々にではありますが子供達も改善傾向にあり、やはり久慈川三育小学校にお世話になってよかったと思う今日この頃です。

＝保護者Ⅱ＝

先日は、久慈川三育小学校の卒業式でした。卒業式は、在校生とその父兄も参加します。その度に久慈川三育小学校に子どもを通わせてよかったなと思ひ

ます。先生も生徒も知らない人はひとりもいません。小学校が一つの家族のようですから、横の関係、縦の関係を築くことができます。

特別授業では、琴やお茶、スケートなどなかなか経験できないことも経験できました。

特に素晴らしいことは、人格教育だと思います。聖書に基づいた教育です。先生方は、子どもたち一人一人は、価値がある尊い存在であるゆえ、一人一人を大切にしつつ、社会生活に必要なことを身につけていくお手伝いをしてくださっています。互いに愛し合うこと、許しあうことを学んでいます。こどもは、何より学校が楽しいと言っていますことを心より嬉しく思います。

＝保護者K＝

公立の保育園に通っている頃、なかなかなじめず、家でも笑顔が少なかったように感じていました。息子と一日入学のため三育小学校を訪れると、先生や上級生の子たちが温かく迎えてくれました。このことと、息子の「三育小学校に行きたい」の一言で「この学校なら息子のことを理解して受け入れてくれる」と思いました。入学前に先生には息子の発達障害についてお話しましたが、受け入れてくださいました。入学後は先生方が発達センターと連携をとりながら息子のことを考えて下さって指導していただいていることに感謝しております。4月から比べると少しずつ出来ることが増えてきているなど感じます。息子は三育小学校が大好きです。毎日学校のことを話してくれているのを見ると学校生活を楽しくすごしているのだと感じます。今後もしもご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、宜しくお願い致します。